

---

# 2022 年度活動報告書

准教授 ホアン・カストロ

## 学内での活動

### 授業

・メディア表現特論 C では、バイオテクノロジーとアート、生命らしい技術、スペース・アートについての深い理解と創造を促す授業を行った。

・プロジェクト「School for Regenerative Design」では、生物学、バイオテクノロジーとデザインの関係性について深い理解と、創造を促す授業を行った。また同プロジェクトでは、奈良女子大学の進化生物学の権威である遊佐陽一教授による「光合成ウミウシの再生と再生産」の講演や、ニューヨークのクーパーユニオン大学のリディア・カリポリティ教授による "LIFE ON MARS" の講演を企画し、実施した。

### 論文

- ・「メディア・アートと自然科学の連携がもたらす新しい発問の仕掛け」  
『科学コミュニケーション論の展開』東京大学出版会、2023年2月21日

### 個人研究

- ・「プロトエイリアン・プロジェクト」  
久保田晃弘（多摩美術大学教授）、豊田太郎（東京大学准教授）と共に宇宙生物学とメディアアートに関する共同研究「プロトエイリアン・プロジェクト」を2019年から継続して行っている。

### その他活動など

- ・「岐阜おおがきビエンナーレ 2021 の報告書」  
ダイレクターを務めた、岐阜おおがきビエンナーレ 2021 「L I F — E !? —部分的に生きているもの、エクストリーム・バイオロジー、エイリアン生命」の実施内容について、本学の紀要に登壇者による寄稿を編集、制作した。

## 学外での活動

### 展覧会

- ・「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ 2022」

2022年9月17日～19日に、やまがたクリエイティブシティセンターQ1にて、「プロトエイリアン・プロジェクト」の研究成果である作品「FORMATA」を展示した。

- ・「Holobiont. Life is Other」

2022年10月06日～2023年01月20日に、Angewandte Interdisciplinary Lab (ウィーン、オーストリア)にて、「プロトエイリアン・プロジェクト」の研究成果である「Non-terrestrial material agency」を展示した。

### トークイベント

- ・「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ 2022」

2022年9月17日に、「いのちのかたち」と題したトークイベントで講師を務め、稲葉俊郎（山形ビエンナーレ芸術監督）とバイオアートについて対談を行った。